

いろいろな学びの館

滋賀県立能登川高等学校(昭和38年創立) 伊庭13
きぬがさやま 織 山の緑と清き流れの瓜生川うりゅうに囲まれ、自然環境の豊かな学舎になに未来を担う青年が集います。



町立つくし児童館(平成元年開館) 佐野341
 「親と子の教室」「手づくり教室」等を開催する社会教育施設です。



私立止揚学園(昭和37年開園) 佐野885
 現在 40 名(平成 8 年度)が在籍しています。知能に重い障害をもつ人たちの施設です。
 ここは、「~のために」ではなく、障害をもつ人たちとともに目に見えないものを大切にしている施設です。



滋賀県消防学校(昭和62年竣工) 神郷314
 県下の消防職員、消防団員その他消防関係職員に対する教育訓練を実施する研修施設です。



私立梅花学園ばいが(昭和36年竣工) 栗見出在家781
 大阪府豊中市の学校法人梅花学園の宿泊施設です。夏期のみ使用されています。



町立能登川高等家政学校(廃校)
 昭和 32 年 4 月、能登川東小学校校舎に設立され、忠霊塔西側を経て 36 年 3 月、本町の中央薬品会社跡地に移りました。55 年 3 月に廃校となり、23 年間のつとめを終えました。家庭婦人養成のための学校でした。



校歌

不思議なことに、校歌を歌うと幼い頃の思い出が甦よみがえって
てきたりします。

メロディが記憶を呼びさますのでしょうか？

能登川町立能登川中学校

作詞 相馬 次麿
作曲 那須原重孝

- 一、はるけき霊峰伊吹山
希望に燃える朝ぼらけ
見よはつらつの若人が
強く雄々しき信念に
民主におう学舎ぞ
げんたり能登川中学校
- 二、静けき麗湖びわの海
理想夢みる夕陽に
今研さんの若人が
直く明かるき教養に
文化に香る学舎ぞ
さんたり能登川中学校

能登川町立能登川南小学校

作詞 辻 悦蔵
作曲 多田 操

- 一、びわ湖の南そびえ立つ
五つの峰の 学び舎に
朝な夕なに 通いつつ
自然の幸につつまれて
明かるき子等は育つなり
- 二、瓜生の流れ 清らかに
歴史はたえじ 工業の
栄える土地に生い立ちて
真理の光 したいつつ
業にいそしむ強き子等

能登川町立能登川北小学校

作詞 藤村外治郎
作曲 池田 静治

- 一、さざなみよせる琵琶のうみ
希望の朝に光さす
おお精錬のわが学童
清き明るさ糧として
喜びつどう学舎ぞ
これぞ我等が北小学校
- 二、せせらぎ清き愛知の川
理想はるかに風を呼ぶ
おお誠実の我が学童
清き正しさ友として
喜びつどう学舎ぞ
これぞ我等が北小学校

能登川町立能登川東小学校

作詞 清水 光子
作曲 野田 暁春

- 一、鈴鹿の山の 空晴れて
緑かがやく 乎加の森
昇る朝日を 仰ぎつつ
大きな夢を えがくのだ
進もうみんな 声あげて
ああ 明るい東小学校
- 二、琵琶の湖 遠く照り
水美しい 垣見の荘
広野の風を 胸によび
若い力を 伸ばすのだ
励もうみんな 手をくんで
ああ 楽しい東小学校
能登川東小学校

能登川町立能登川西小学校

作詞 藤川 助三
作曲 多田 操

- 一、その名ゆかしき きぬがさの
峯の若松 すくすくと
日々にのびゆく姿こそ
わが行く末に 似たるかな
- 二、琵琶の浦波 打寄する
真砂の数の 限りなき
師の御教えを 仰ぎつつ
智徳のまだま 研がんかな
- 三、ああ能登川の 西学校
足なみそろえ 皆共に
文化日本 建設の
道堂々と 往かんかな

滋賀県立能登川高等学校

作詞：福島 崇雄、作曲：高木 昭順
補修編曲：片岡 良和

- 一、鈴鹿嶺に 雲朝開き
若き日の 眉高くあげ
清らかに 正義を踏まん
われら胸 迫るものあり
- 二、きぬがさの 樹々にこだます
わがうたう 声よ朗らに
大いなる 歓喜に酔わん
わが心 燃ゆるものあり
- 三、比良山に 落陽は映ゆ
瞑想の 時よ静けく
ひそやかに 真理を思ふ
われら胸 響くものあり
- 四、湖に 波はたゆとう
豊かなる みのりを求め
ひたすらに 努め励まん
わが心 満つるものあり